

法音

日蓮宗 法音寺

今月のご法話

「眠れる預言者」

令和 8 年

1 月号

No.675

悦可衆心

よい教えを伝えよう

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

【信仰の指針】地涌菩薩たらんとの志を持ちましょう

新年のご挨拶

鈴木正修

4

冬は必ず春となる

鈴木修徳

8

【朝のこない夜はない】

眠れる預言者

山首 鈴木正修

12

〔年賀〕

◆仏教漫画『日蓮さま』・45四条金吾への手紙

31

◆四条金吾

◆お寺の本棚

35

◆常寂光土への誘い (42)

43

◆のりのね体験

44

◆寺院だより

46

◆福祉のひろば

47

◆幸せのお手伝い

52

○昭徳会・第18回福祉実践発表会を法音寺本堂で開催

53

○日本福祉大学 東京2025デジタルで本学卒業生が農業に輝く活躍を見ました!

54

◆幸せの種まき／編集後記

55

◆連載まんが・ひまわり・156 もう一度会いたい

56

◆令和8年・法音寺年間行事のご案内

81

掲載写真 表紙・扉・12頁～31頁・裏表紙・梅田雅臣氏撮影

信仰の指針・加納将人氏撮影
表紙写真・胡蝶ラン

吹く風は
かぜ
心にそわぬ
こころ
なびく柳の
やなぎ
事もあらむ
こと
すがた尊し
とうと

『三祖宗玄大徳御詠』



春ラン



日教五

信仰の指針

志を持ちましよう

地涌じゆ
菩薩たらんとの



新年のご挨拶

鈴木正修五

令和八年丙午正月を迎えて、皆さまに心より新春のお慶びを申し上げます。近年、健康寿命という言葉がよく使われます。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことです。男性が72・57歳、女性が75・45歳で、それぞれ平均寿命との差が男性8・49年、女性11・63年です。この差が「不健康な期間」となります。健康寿命を延ばすには、一般的に禁煙、節酒、バランスの良い食事、適度な運動が効果的です。

度な運動、十分な睡眠、ストレスをためないなど、さまざまに言われています。最近ある週刊誌に「老いの極意」という特集があり、その中にコメディアンで今なお現役で活躍中の94歳・大村嵐さんの話が紹介されました。「日常で気をつけていることはいろいろあるが、特に『怒らないこと』を心掛けています」と語られています。

「喜劇人で短気で怒る人はみんな早世してします。藤山寛美は60歳、榎本健一先生は65歳、三波伸介は52歳で亡くなりました。森繁久彌先生は92歳まで現役を続け、96歳で亡くなりました。本当に怒らない人でした。僕は94歳になつて、森繁のおやじさんの現役年齢92歳を抜きました。おやじさんのような穏やかな性格を心掛けて、96歳も抜きたいと思つてします」

聖路加国際病院の日野原重明先生は、105歳で文字通り天寿を全うされました。先生は心と身体を健やかに保つために日々実践されていましたことを著書に記されています。その中で私の目に留まつたのが「恕す勇気を持つ」という言葉です。

ある時、先生が大切にしていたものを7歳のお孫さんが壊してしまい、怒りのあまりきつく咎めたそうです。すると“わざとやつたわけではないのに”とでも言うようにキツと睨み返され、可愛いお孫さんにこんな敵意に満ちた目をさせてしまったことにショックを受けられました。“こちらが怒れば相手も怒る。孫を叱りつけるべきではなかつた。もつと愛情をもつて接するべきだつた”と反省され、それ以来「怒す勇気」を持つよう努められたそうです。

先生は、一般によく使われる「許す」や「赦す」よりも、「怒す」という漢字に「ゆるす」ことの本質的な意味を感じておられました。「怒す」には単にゆるすというだけではなく、「相手の立場や心情を思いやつてゆるす」という意味合いがあります。

日野原先生は次のように述べておられます。

「怒すのは相手のためだけではなく、自分のための行為でもあるのです。怒せない心を持ち続けるのはしんどいことです。だから怒すことで、私達

は心穏やかになれるのです

また別のところで、先生はこうも語られています。

「誰しも頭にくることはあるものです。そんな時は、深く息を吸つてそれを吐き切るといいです。気分転換に歩くのも特効薬になります。どちらも交感神経の興奮を抑える効果があるので

先生は普段から「長息は長生きにつながる」とオペラのアリアを歌うよ
うな呼吸法を取り入れておられました。近年、深い呼吸法や瞑想は心身を
整え、ストレスから回復させる効用があることが科学的に検証されていま
す。最近では若い方々の間でマインドフルネスとして知られており『グ
グル』や『アップル』といった大企業で社員教育に取り入れられています。
世の中にはさまざま健康法がありますが、私はまず心を第一に考える
べきだと思います。今日一日を感謝と堪忍、思いやりの心で過ごし、行住
坐臥にお題目を唱えること、これに勝る健康法はないと思います。
皆さまの本年のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

ふゆ から はる 冬は必ず春となる

鈴木 修徳

新しい年を迎えて、皆さまに心より新春のお慶びを申し上げます。また、昨年中は多くの方々にお世話になり、ここに厚く御礼申し上げます。

日蓮聖人の御遺文（妙一尼御前御消息）には、次のように記されています。

「法華経を信ずる人は冬の如し。冬は必ず春となる。未だ昔より聞かず見ず、冬の秋と返れる事を。未だ聞かず、法華経を信ずる人の凡夫となる事を」

季節だけでなく、心まで冬のようを感じる方もあるかと思います。しかし、信心をしつかりと持ち、お徳を積んでいけば、必ず春を迎えることができます。

御開山上人を杉山先生（始祖安立大法尼）に引き合わせた祖父江妙綱法尼は、肺病を患い、まさに人生の冬の只中にありました。しかし、杉山先生との出会いによって、その人生は春へと転じたのです。

『安立行（下）』 145～150頁に次のように記されています。

「よく聞いてくださいよ。本来ならばあなたは、すでに死んでいる方なのですが、徳の力で今日まで生きていたのです。あなたが今死んで、生まれ変わるとしたら何になるとおもわれますか。鏡で自分の顔を見てご覧なさい。きっと蛇だと思いますよ。（中略）あなたはとても良い、金の魂をお持ちです。あなたはこの世に、金をもうけに生まれて来たのではありません。苦しんでいる人々を済度するために出て来られたのです。それを知らずに損得ばかり考え、ノミの王子みたいな小さな心になつていたので、病気ばかりするのです。小さい気になつて、クヤシイクヤシイという心を遣う者は皆、蛇になるのですよ」

つなは、恐ろしさに身も縮む思いでたつの言葉を聞いていた。

「私は人に負けることが大嫌いだ。何事でも私より上手にやる人がいれば目を吊り上げて、くやしい、負けたくないとしか思わなかつた。人から指図されることも我慢ならなかつた。それがすべて蛇になるための種まきであつたというのか。もしも、もしもこの方にお会いしないまま死んでいたとしたら……何と恐ろしいこと。蛇などに生まれたくない。蛇になるのはいやだ……」

つ・な・は、心のこころ中なかで叫さけんでいた。

「あなたは医者いしゃに見離みはなされた方かたです。死んだ氣しなじになつて私の話を聞きなさい。今すぐ死ぬしのと、健康な体けんこうになつて未来みらいに極樂ごくらくに行くのとどちらがいいですか。聞くまでもないです。どんな人ひとでも極樂ごくらくに行きたいに決まつています。ただ、普通ふつうに生きているだけでは極樂ごくらくには行けませんよ。極樂ごくらくに行くためには徳とくを積つまねばなりません」

「徳とくを積つむとは…」

「世よのために働く、人さまの便利べんりを図はかるようにするのです。わかりますか。わかつただけずつでいいですから、実行じつこうしてください」

(中略)

たつから教おしえられた、「ここにいる時ときだけではなく、どこででも人ひとを喜ばせてください。自分の病氣びょうきが治なおりたいと思うなら、人の苦しみを先さきにとつてあげなさい」という言葉ことばを実行じつこうすべく、家いえに帰かえつても、弱よわつた体からだを乳母車うばぐるまに乗のせてもらい、夫おつとに押おしてもらって村むらをまわり、道端みちばたで遊あそぶ子ども達たちにお菓子かしを配くばり、病人びょうにんや難儀なんぎをしている人々ひとびとにもお菓子かしを手渡てわたしながら、たつから聞いた話を繰くり返かえし伝えつた、「心こころを広く持ひろくも精神修養せいしんしゅようをしてください。心こころの持ち方かた一つで、死ぬまのを待まつばかりであつた私が、ほら、この通り元氣げんきになつたので

すよ」と言つて歩いた。

「おかげさまで痛みがなくなりました」

「とても気分がよくなりました」

と、つなに礼を言いに来る人も次第に出てきた。

祖父江先生はその後、杉山先生の右腕として活躍され、多くの人々によい教えを伝えられました。

世の人よ幸をねがわば人にまづ

めぐみて幸のたねをまかなる

(『御開山上人御詠集』62頁)

季節は巡り、冬もやがて春になります。しかし、人生の春は、法華經・三徳の教えを聞き、それを実行するところに訪れるのです。皆さまの御多幸をお祈り申し上げます。

朝のこない夜はない

山首 鈴木正修



眠れる預言者

退行催眠（前世療法）によつて前世を知ることで、現在抱えている悩みや苦しみの原因が明らかになり、その解消につながるということを先月号で紹介しました。

今回は前世療法の本家本元とも言える人物、エドガー・ケイシーを紹介します。

エドガー・ケイシーはケンタッキー州の貧しい農家に生まれました。21歳の時に喉頭炎になつて声が出なくなりました。その時にレインという催眠術師に催眠術をかけてもらい、喉頭炎が治りました。それから不思議なことが起きました。ケイシーが催眠状態に入つ



て い る 時 に 病 人 の こ と を 聞 か れ る と 、 そ の 病 人 の 肉 体
の 状 況 を 透 視 し 、 そ の 原 因 と 治 療 法 を 明 ら か に す る こ
と が で き る よ う に な つ た の で す 。 人 は い つ し か ケ イ シ
ー の こ と を 「 眠 れ る 預 言 者 」 と 呼 ぶ よ う に な り ま し た 。
こ の 肉 体 を 透 視 す る こ と を フ ィ ジ カ ル ・ リ ー デ イ ン グ
と 言 い ま す 。

一 つ 有 名 な 話 を 紹 介 し ま す 。

ア ラ バ マ 州 セ ル マ の あ る 少 女 が 精 神 錯 亂 状 態 に な り 、
精 神 病 院 に 入 れ ら れ ま し た 。 ど う に か し て 治 し た い と
思 つ た 両 親 が ケ イ シ ー の ど こ に に 相 談 に 来 ま し た 。 ケ
イ シ ー は い つ も の よ う に 横 に な つ て 催 眠 状 態 に 入 り ま
し た 。 両 親 が 少 女 の 名 前 を 言 つ て 「 精 神 の 状 態 が お か
し い で す 」 と 相 談 す る と 、 ケ イ シ ー は 透 視 を し て 「 こ
の 女 の 子 の 齒 茎 に 親 知 ら ず が 一 本 食 い 込 ん で い る 。 そ



れが脳神経を侵している。この歯を抜けば、この子はすぐに正常に戻る」と言いました。その後、歯を抜くとすぐに少女は正常な状態に戻ったということです。

また遠隔透視もできたといいます。ケイシーは国内はもちろん、アメリカにいながら、国外にいる人のことも透視できたそうです。例えば対象が私だったとすると、「鈴木さん、今日そちらは風が強いですね」とか、「あなたの横には誰々がいて、あなたの病いが治ることを祈っていますね」などと言い当てたといいます。それによつてケイシーの透視の真実性が増したとすることです。

このようなケイシーの透視能力が次第に知られるようになると、金儲けに利用しようという者が現れました。ある時、「競馬の勝馬を教えてくれ」と依頼



する人がいました。これは成功もするけれど、失敗もするという結果でした。普通の予想屋と変わらない程度でした。そういう時は催眠状態から目覚めた時にとても疲れていたそうです。エネルギーを消耗して、とても不快感が残ったそうです。

また「テキサスで石油事業をやらないか」という話もありました。「油田のありかを透視してくれ」というのです。これは全く良い結果を得られませんでした。結果的にケイシーはこういう透視をすると、不確かであると同時に、すぐ疲れることがわかりました。自分の能力は人を助ける時にだけ、確実に信頼するに足る。金儲けを目的とした時には力を發揮しない」と実感したといいます。



【前世の発見】

ケイシーが初めてライフ・リーディング（前世透視）を行ったのは、全くの偶然によるものでした。依頼者のホロスコープ（個人の誕生時の天体配置図で占星術のもとになるもの）を読みとるための透視を行つていたときに、その状況に遭遇したのです。1923年11月11日、ケイシーの故郷であるオハイオ州、デイトンで、それは行われました。依頼者は、地元の実業家、アーチャー・ラマーズという人物でした。ラマーズはリーディングの最中に「自分は前世で僧侶であった」と語りだしたのです。ラマーズの依頼したホロスコープの透視とはかけはなれたものでした。

この時、最も驚いたのはほかならぬケイシー自身でした。というのも、彼は輪廻転生を認めない敬虔なキ



リスト教徒きようどだったからです。キリスト教きようきょうでは、人は死死しふ後ご、神かみの最後さいごの審判しんばんを待まつのみで、生まれ変わかることはないないとされているのです。

しかしその後ご、ケイシーが聖書せいしょを詳しく調べくわたところ、かつては「人間にんげんは生まれ変わるうか」と記しるされていましたが判明はんめいしました。それが、ある宗教会議しゅうきょうかいぎにおいて聖書せいしょが改訂かいていされ、その記述きじゆが削除さくじよされたそうです。その理由りゆうは、神かみへの信仰心しんこうしんを強めるためだつたそうです。ケイシーはこの後あと、一気に生まれ変わりうかを信じ、積極せっさく的にライフ・リーディング（前世透視ぜんせいとうし）を行おこなうようになつていきます。

ケイシーは自らの前世ぜんせを透視とうしした際さい、古代ペルシャ時代じだいに「ユートル」という部族ぶぞくの族長ぞくちょうであったことを知しりました。その時の彼かれは有能ゆうのうな靈能者れいのうしゃであり、複数ふくすう



の病院を建てるなどの活動を行つていたといいます。その時の人格が現在の彼に強く影響を与えていたことがわかりました。

【死後の世界の存在】

自分自身の前世を見たケイシーですが、それでも彼は、魂が死んだあとも本当に存続するのかを確かめてみたないと考えて、ある日、ウエスタン・ユニオン電話局を経営する実業家であり友人でもあるM・B・ワイリックにこう語りました。

「どちらか先に死んだ方が、あの世から必ず連絡を取るようになります」

ケイシーにとつては冗談半分の提案でしたが、その後、ワイリックが先に亡くなりました。



そんなことも、すっかり忘れてしまったある日、ケイシーは自宅の居間でラジオを聞いていました。すると、何となく部屋の中に誰かがいるような感じがしました。ふとラジオに目をやると、ラジオの前に男が座っているように見えました。その男は数年前に死んだ友人のワイリックだったのです。ワイリックは微笑みながら、「人格はやはり続くんだよ」と言いました。ケイシーはしばらくの間、椅子に座つたまま動けなくなりましたが、やつとのことで椅子から立ち上がり、ラジオを消して逃げるよう妻のいる2階のベッドルームへ行きました。ケイシーの妻が「ラジオを消してこなかつたの?」と言いました。それでケイシーは、今も階下から聞こえてくるワイリックの声が妻にも聞こえていたのだとわかりました。自分だけの幻覚や幻



「これでわかつただろう。死後の世界はあるんだよ」
「これでわかつただろう。死後の世界はあるんだよ」
「この出来事を通じて、ケイシーは死後も人間の魂が
存在し続けることを確信したといいます。

シーエーに告げました。

【ライフ・リーディングの事例】

ケイシーのライフ・リーディングを受けた人は、約2500人にのぼるといわれています。さまざまな事例がありますが、今回はそのいくつかを紹介します。

ある生まれつき目の見えない大学教授がライフ・リーディングを受けたところ、紀元前1000年頃のペルシヤにおいて、赤く焼けた鎧で敵の目を潰す部族の一員だつたことが透視されました。この行為がカルマ



（因果）となり、今世で彼の視力を奪ったのかもれない、ということです。

法音寺の始祖・杉山辰子先生も、これに似たことを語られたことがあります。ある時期、杉山先生は視力を失われましたが、こうおっしゃいました。

「これは過去世、私が武士だった時代に、弓で人の目を射抜いたことがある。その因果によつて、私はある時期から目が見えなくなる。しかし、私は功德によつて、その因果を消滅させ、また見えるようになるから、心配にはおよびません」

また、ニューヨークで手のモデルとして活躍していきる女性がライフ・リーディングを受けたところ、彼女



は過去世において修道女であり、その時、人が嫌がる
ような手を汚すような仕事を率先して行つていたことが
わかりました。その善きカルマの結果として、彼女
は美しい手を持ち、手のモデルとして成功をおさめて
いたのだそうです。

ケイシーによると、ある一生で努力して修得したものは、決して無駄にはならないといいます。また幼少期から天才的な技量を發揮する人がいるのは、過去世の積み重ねによるものだというのです。

たとえば、モーツアルトです。なんと5歳の時にピアノ協奏曲を作曲したといいます。

19世紀の天才数学者ガウスは、2歳の時に父親が從業員の給与計算をしているのを見て、「お父さん、間



違つて いるよ」と指摘したと伝えられています。これらはそのよい例だと 思います。

また、こんな話もあります。アメリカ・ロサンゼルスに住む6歳の少年レイモンド君は、それまでピアノに触れたことがなかつたにもかかわらず、突然流麗なジャズのメロディーを弾き始めました。驚いた父親が「どうしたんだ?」と尋ねると、レイモンド君は「指が自然に動くんだ」と答えたそうです。それから、レイモンド君は一日五時間ピアノを弾き続けました。それが次第に個性的なジャズの演奏スタイルになつていったのです。ジャズに詳しい人がその演奏を聴いて、「これは1943年に39歳で亡くなつたファツツ・ウォーラーそのものだ」と言いました。こうして、「この子



はファツツ・ウォーラーの生まれ変わりなのでは」と
言われ、アメリカ中の人気者となつたのです。

ちなみに、ファツツ・ウォーラーが亡くなつたのは
1943年。レイモンド君がピアノを弾き始めたのは
1971年でした。レイモンド君の父親はこの出来事を
本にまとめ、後にそれが映画化されました。

【ソウルメイトと魂のつながり】

ケイシーの話には、ほかにもさまざまな興味深い話
があります。その中の一つに「ソウルメイト」という
概念があります。

ソウルメイトとは、魂の深いつながりを持つ伴侶や
仲間のことを指します。つまり、魂同士に強い絆があ
るということです。伴侶であれば俗に言う「赤い糸」



で結ばれているということです。中には、5人、10人、20人といつた魂のグループがあり、ある時代に、そして次の時代にも、共に生まれ変わる人達がいるといいます。

こうした魂のグループは、カルマ（因果）の問題をともに解決する仲間であり、同じ目的を持つて生まれ、それぞれの役目を果たすために転生してくるのだそうです。

法華經を信じ実行する法友は、ソウルメイトの関係と言えるかもしれません。

【輪廻からの解脱と選択権】

ケイシーがライフ・リーディングを施した約2500人のうち、18人には大いなる存在から、自らが望ま



ない限り、もう地球上に生まれ変わる必要はない、という選択権が与えられていました。つまり、輪廻の輪から解脱している人々です。

ケイシーのライフ・リーディングの記録はすべて現在も残されており、その18人は「不要なる転生」という項目に分類されています。彼らには、以下の三つの共通点があるとされています。

一つ目は、特別な聖人ではなく、ごく普通の人であること。

今世で与えられた課題を真摯に受け止め、それに全身全霊で向き合っている人々です。困難から逃げず、誠実に問題を取り組む姿勢が特徴です。

二つ目は、職業を通して自己を磨き、社会に貢献していること。



職業意識や技術を高めることで自己成長を遂げ、さらにその働きによつて周囲の人々を幸せにしています。医師、技術者、教育者など職業はさまざまですが、いずれも自らの仕事を通じて社会貢献をしているのです。三つ目は、奉仕の精神を持つていること。これが最も重要な共通点です。

法華経的に言えば、常に菩薩行を実践している人です。人の幸せのために尽くすことを第一に考え、利己的な欲望や興味をすべて捨て去っているのです。

これらのことが、地球への再生を必要としないとされた18人に共通していいたのです。

またケイシーは次のように語っています。

「18人は、地球上に戻らなくてもよい」と言われている。



しかし、『もう戻ることはない』とは言われていない。
『地上の人々の力になりたいと願う者は、再び戻つて
もよい』ということなのだ。最終的な選択権は本人に
委ねられているのである』

お釈迦さまは、法華経法師品第十において次のように
述べておられます。

「藥王、まさに知るべし、是の人は自ら清淨の業報を捨て
て、我が滅度の後に於て、衆生を愍むが故に悪世に
生れて広く此の経を演ぶるなり」

『法華三部經略義』卷三第十章・法師品（144頁）

（藥王菩薩よ、よく知りなさい。この人（法華経を深く
信じ、実践する人）は、清淨なる功德の身を捨てて、



末法の世に生きる人々を愍むが故に、ともに苦しみ、ともに悩みながら、多くの人々に法華経を弘めるために、敢えてこの世に生まれてくるのだ)

日蓮聖人は「地涌の菩薩に非れば唱えがたき題目」とおっしゃっています。今、お題目の信仰をし、それを弘める人は、ケイシーのライフ・リーディングの18人に勝るとも劣らない如来の使者であろうと思ひます。



謹賀新年

日蓮宗

法音寺

よい教えを伝えよう

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

令和八年元旦



内局委員会
評議員会



進師法縁法音会
檀信徒代表者会
全国信教師会

講話日・毎月七日・十七日・二十七日

日蓮宗 大乗山 法音寺

講話日:毎月7日・17日・27日(午後1時30分)

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3

TEL. 052-831-7135 FAX. 052-831-9801

支院名・主管者(担任)名	住 所・T E L	毎月の講話日
大阪支院 田中常行	大阪府大阪市此花区西九条3-4-41 〒554-0012 ☎(06)6465-5051	第2日曜日 23日
福井布教所 田中常行	福井県あわら市春宮3-28-2 〒919-0632 ご連絡は大阪支院へ	3/14・7/19 ・9/5
和泉支院 上田常信	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404 〒598-0091 ☎(072)466-3112	第1日曜日 14日・22日
神戸支院 田中常行	兵庫県神戸市兵庫区五宮19-17 〒652-0007 ☎(078)360-4884	第2土曜日 21日
淡路支院 田中常行	兵庫県南あわじ市神代国衙910 〒656-0455 ☎(0799)42-0175	5・15・25日
岡山支院 大本信行	岡山県岡山市南区若葉町1-16 〒702-8047 ☎(086)262-0818	第1日曜日 7日・23日
高知布教所 山本雅子	高知県高知市上町5-5-39 〒780-0901 ☎(088)823-1983	12日
福山支院 宮崎良祐	広島県福山市西町3-19-5 〒720-0067 ☎(084)921-3078	第1日曜日 第3日曜日
三原支院 森野智広	広島県三原市皆実2-9-22 〒723-0052 ☎(0848)62-5087	第2土曜日 第4日曜日
安芸津支院 大本信行	広島県東広島市安芸津町三津3765-3 〒739-2402 ☎(0846)45-4012	第1土曜日 第4日曜日
坂支院 三宅善祐	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12 〒731-4313 ☎(082)885-1064	第1、又は 第2日曜日
福岡支院 大庭持念	福岡県福岡市早良区城西2-11-37 〒814-0003 ☎(092)821-7975	第1日曜日 第3日曜日 15日
壱岐布教所 三好敏博	長崎県壱岐市石田町池田東触1112 〒811-5221 ☎(0920)44-5445	13日・23日
筑後布教所 蒲池厚	福岡県筑後市大字西牟田5954-1 〒833-0053 ☎(0942)53-7273	第2日曜日 第4日曜日
天草布教所 吉屋かおる	熊本県上天草市大矢野町維和1502-1 〒869-3604 ☎(0964)58-0742	1日
田川支院 手嶋敬徳	福岡県田川市春日町7-30 〒826-0026 ☎(0947)42-1819	第2日曜日 第4日曜日
名古屋地区 前原祐学	愛知県名古屋市昭和区駒方町3-3 〒466-0832 ☎(052)831-7135	7・17・27日
瀬戸布教所 高原吉一	愛知県瀬戸市東本町2-20 〒489-0816 ☎(0561)85-6860	9・19・29日
龜岡布教所 田中節子 田中悠子 山藤明江 嶋崎婦美子	京都府龜岡市篠町篠牧田73-1 〒621-0826 ☎(0771)25-7807	第2月曜日 第4日曜日

※講話日は行事によって変更になる場合があります。開始時間はお問い合わせください。

謹賀新年

支院名・主管者(担任)名	住 所・T E L	毎月の講話日
大乗山 泰明寺 鈴木修徳	愛知県名古屋市中村区名駅2-37-3 〒450-0002 ☎(052)581-2069	5日・20日
開基堂 高浪慈成	愛知県江南市寄木町天道18 〒483-8184 ☎(0587)53-5436	10日
東京支院 猪原善昭	東京都練馬区谷原2-6-37 〒177-0032 ☎(03)3904-1251	第1日曜日 15日 第4土曜日
静岡支院 大庭圓昭	静岡県磐田市城之崎4-7-3 〒438-0084 ☎(0538)32-6625	2・12・22日
豊川支院 三宅善祐	愛知県豊川市中野川町1-26-3 〒442-0885 ☎(0533)86-4704	4日・20日
安城支院 島田知教	愛知県安城市新田町小山31-25 〒446-0061 ☎(0566)76-2504	第1・又は、 第2日曜日 18日・28日
明川支院 毛利行徳	愛知県豊田市明川町堂ノ脇1-2 〒444-2601 ご連絡は本山寺務局へ	11日 第4土曜日
佐屋支院 村上善立	愛知県愛西市大井町浦田面296 〒496-0921 ☎(0567)32-1825	4日 第2日曜日 24日
一宮支院 鈴木正観	愛知県一宮市大江1-7-4 〒491-0851 ☎(0586)72-7208	5・15・25日
西春支院 渡辺英覚	愛知県北名古屋市九之坪東ノ川20 〒481-0041 ☎(0568)22-5813	2・12・22日
岐阜支院 前原順徳	岐阜県岐阜市切通7-15-22 〒500-8237 ☎(058)245-2939	4・14・24日
笠松布教所 岩田正揮	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23 〒501-6042 ☎(058)391-9733	12日
大垣支院 香村淨音	岐阜県大垣市宝和町5 〒503-0972 ☎(0584)78-4854	1・11・21日
関支院 吉橋顕良	岐阜県関市西福野町2-15-11 〒501-3244 ☎(0575)22-0776	3・13・23日
平賀支院 後藤善晃	岐阜県関市市平賀213-2 〒501-3822 ☎(0575)23-3771	5・15・25日
郡上八幡支院 渡辺義彰	岐阜県郡上郡八幡町小野721-3 〒501-4221 ☎(0575)65-3933	8日・22日
四日市支院 祖父江瑞法	三重県四日市市赤堀2-4-7 〒510-0826 ☎(059)352-3633	3・13・22日
上野支院 橋本道念	三重県伊賀市上野向島町3475 〒518-0875 ☎(0595)21-0127	1・11・21日
京都支院 安藤順法	京都府京都市上京区北横町360 〒602-0818 ☎(075)231-3437	1・9・20日
高槻支院 岩田孝学	大阪府高槻市天神町1-9-2 〒569-1117 ☎(072)685-1003	第1日曜日 11日・21日

謹んで新春の お慶びを申し上げます

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

■児童養護施設

駒 方 院
名 古 屋 養 育
名 古 屋 若 松 審

■障がい児入所施設

小 原 学 園

■障がい者支援施設

小 原 審
泰 山 審

■特別養護老人ホーム

安 立 莊
高 浜 安 立
小 原 安 立

■障がい福祉サービス事業

授 産 所 高 浜 安 立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケアハウス高浜安立
ケアハウス湯山安立

■軽費老人ホーム

ケアハウス大阪安立

■養護老人ホーム

養護老人ホーム高浜安立

■自立援助ホーム

慈 か 泉
寮

■保育所

駒 光 天 泉
方 德 王 保 育
立 立 保 育

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院 ■日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校 ■日本福祉大学付属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

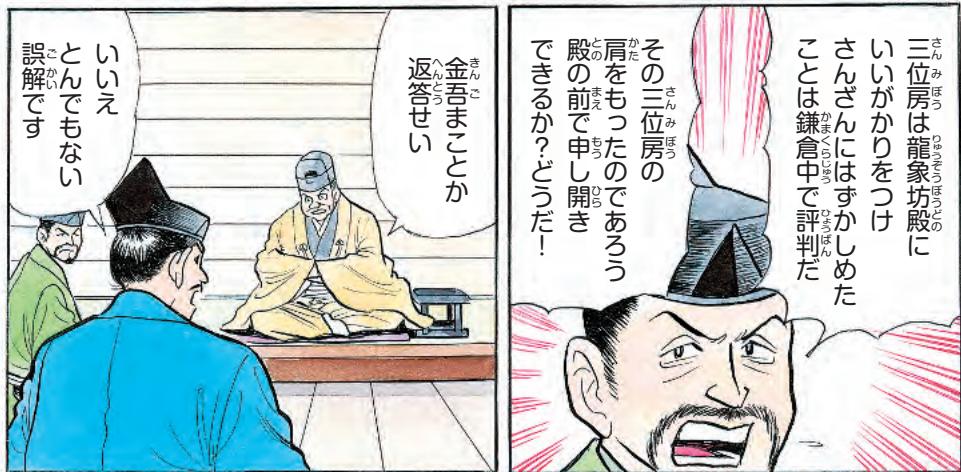
にちれん

日蓮さま

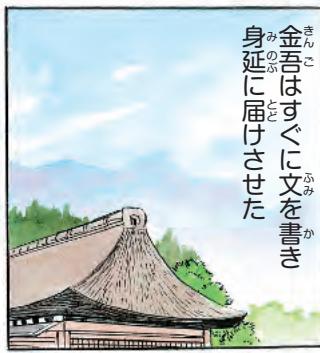
45 し じょう きん こ て がみ
四条金吾への手紙











四条金吾殿

主君を恨んではなりませぬ。あなたが親孝行
できたのは主君がおられたからです

主君にはご恩があります
「信仰がもとで所領を没収されるなら法華経に
対する布施になるので幸せなことです」

と言い切ってください

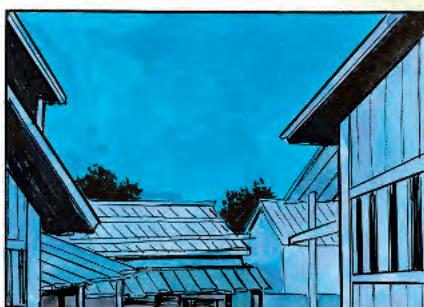
そうすればいつかきっと
主君から勘気が解かれる
日がくるでしょう

日蓮



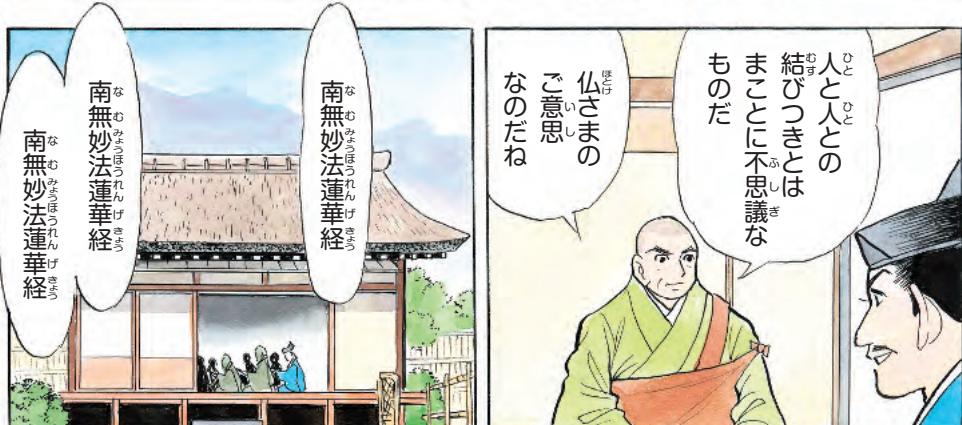
うむ お上人さま
らしい行き届いた
ご指示だ ありがたい

くれぐれも用心を
重ねるようことに
言わされました









つづく

四条金吾

四条頼基（じじょう よりもと）は、四条中務三郎左衛門尉頼基と称し、時の執権・北条泰時的一族にあたる江間光時の家臣でした。官位である左衛門尉の唐名「金吾」にちなみ、「金吾」とも呼ばれました。

建長5年（1253）、夫婦そろつて日蓮聖人に帰依し、文永8年（1271）の龍ノ口法難に際しては、日蓮聖人とともに殉死しようとしたほどの信徒でした。日蓮聖人はその時のことが忘れられないとした上で、『崇峻天皇御書』に、『もし頼基が罪深く地獄行きならば共に地獄に行く』と述べています。師弟の情の厚さがうかがい知れます。

また、医薬にも通じており、主君・光時の重病を平癒させた功績により、甲斐国・内船（現在の山梨県南巨摩郡南部町）の地を与えられました。晩年には、日蓮聖人の看護にもあたり、聖人の入滅後は、身延に近い内船の地に居を構えました。

建治3年（1277）、頼基は邸内に持仏堂を建立し、これが現在の正住山内船寺の起源とされています。



正住山内船寺 身延線内船駅から徒歩15分（Wikipediaより）

お寺の本棚

『村上先生御法話集・第一巻』



人生は仮の宿

この娑婆世界に住める衆生はまたかくの如く、苦海という

娑婆世界の諸々の憂悲苦惱を逃れて彼の岸という、安樂の場所に
たどりつかんとの願望はあれども、無知の悲しさに、その岸のいざなるやも知らず、なおさら

にこれを見て哀れみ給えるみ仏は、その手に持ちたる玩具を捨てよと声の限り呼ばわれども聞か
ずして、ついには海底の藻屑となるは實に悲しいことであります。この理をよく悟りて、この世
の執着たる玩具を手離して、彼の岸に一日一日と近づくよう努力すること、まこと人生の真意
義を得たるであります。この理を知りながらも実行のできぬというは實に愚かの極みであつて、
いかに現世幸福を願うとも、後生の善処を願うとも、それは無理な注文にして、日蓮聖人が「凡
そ其の里ゆかしけれども道絶え縁なきには、通う心も疎かに、其の人恋しけれども憑めず」（持
妙法華問答鈔）と仰せられし如くであります。また曰く「暮れ行く空の雲の色、有明方の月の光
までも、心を催す思いなり。事にふれ折に付けても後世を心にかけ、花の春雪の朝も是を思い、

村上先生御法話集・第一巻



風騒ぎ村雲迷う夕にも忘るる隙なけれ。出る息は入る息を待たず、何なる時節ありてか『毎自作是念』の悲願を忘れ、何なる月日ありてか『無一不成仏』の御経を持たざらん。昨日が今日になり、去年の今年となる事も、是期する処の余命にはあらざるをや。総て過ぎにし方を数えて、年の積るをば知ると雖も、今行末に於て一日片時も誰か命の数に入るべし。臨終今に在りとは知りながら、我慢・偏執・名聞・利養に著して、妙法を唱え奉らざらん事は、志の程無下にあえなし』（持妙法華問答鈔）と申されし御言の葉、よくよく味わうべきであります。

げにはかなき人生を、法をも信ぜず暮らしたならば、何の甲斐こそあるべくで、暮れ行く日月は悔いの基となるのであります。今一年暮れかかりし時にこそ、わが臨終の近づきつつあることを悟りてなおさらには菩提心を増し、この忍土という娑婆世界に生を受けたるを喜び、三千年に一度も値い難き妙法に会えたことを喜び、善事をなして喜び、人を善導しては喜びて、堪忍を常に心の守りとして妙法を行住坐臥に唱えるならば、最後臨終のその時に、諸仏・菩薩は手を取りて無上寂光の都に導き給うのであります。されば日々もまた安穩に、子孫繁栄して、一家は必ず榮えること、疑いなきことであります。みなさん最後臨終の時に後悔なきよう、ますます精神修養あらんことをお願い申します。

この本をもつと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所まで
お問い合わせください。

常寂光土への誘い(42)

— 妙法蓮華經略義・第一章序品 (3)

二、爾の時に釈提桓因、其の眷属二万の天子と俱なり。

釈提桓因は帝釈天王のこと。当時、インドのバラモン教には九十五種の派があったと言われていますが、皆等しく天に昇ることが目的とされていて、その天という境界において一番偉い方が天帝、即ち帝釈天であると言われています。その天帝をはじめとしてバラモン教の人々も皆、仏さまのみ教えを学ぶべきである、という意味が含まれているのであります。「天子」は天に住んでいる人。

三、復名月天子・普香天子・宝光天子・四大天王あり。其の眷属万の天子と俱なり。

名月天子は「月」。普香天子は「星」。宝光天子は「日（太陽）」。これらが人間界を照らす働きをするために仏さまのみ教えを学ぼうと集まつて来られたのです。天上界の神さまでも、月や星、太陽も、仏さまのみ教えによつて働かなければならぬという尊い意味が込められています。

「四大天王」とあります。帝釈天が天上界の一番上の神さままで、四天王はその部下、人々の身の上に善い事の続くようご守護下さる神々です。須弥山を中心として東を受け持つのが持国天王、南を受け持つのが增長天王、西を受け持つのが広目天王、北を受け持つのが毘沙門天王、多聞天王とも言います。私

どもが日々拝する妙法曼荼羅御本尊の宝塔の四方に坐し、日夜お護り下さっています。いろいろな神々も、たくさんの眷属と共に聴聞に集まつて来られました。

一三、自在天子・大自在天子、其の眷属三万の天子と俱なり。

自在天・大自在天はバラモン教において世界創造神とされ、仏教においては仏・菩薩の化身とされています。三万の天子と共に来られていました。

一四、娑婆世界の主梵天王・尸棄大梵・光明大梵等、其の眷属万二千の天子と俱なり。

「梵」は穢れを離れて清淨という意。インドの正統バラモン教思想の最高原理を意味します。梵天として人格神的に表象されるようになり、仏教に入つては守護神となりました。天上界の、このように勝れた神々も、万二千という大勢の天子と共に来られていたのです。

一五、八龍王あり、難陀龍王・跋難陀龍王・婆伽羅龍王・和修吉龍王・德叉迦龍王・阿那婆達多

龍王・摩那斯龍王・優鉢羅龍王等なり。各若干百千の眷属と俱なり。

海中に棲む生物を支配する龍の王で、神力を持つとされています。

一六、四緊那羅王あり、法緊那羅王・妙法緊那羅王・大法緊那羅王・持法緊那羅王なり。

各若干百千の眷属と俱なり。

緊那羅は、天 上界に住んで音楽を奏でる神。美しい歌声を持つ歌神と言われています。

二七、四乾闥婆王あり、樂乾闥婆王・樂音乾闥婆王・美乾闥婆王・美音乾闥婆王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

乾闥婆は、帝釈天に仕えて音楽を司る神で、それぞれ香を食物にしていと言われる神々です。

二八、四阿修羅王あり、婆稚阿修羅王・法羅騫阿修羅王・毗摩質多羅阿修羅王・羅睺阿修羅王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

阿修羅は、常に大海の底に棲み、昔の勇将が戦に臨む場合に用いる言葉にもなっているように、鬼神にして、戦いを起こさせる悪魔のような神であります。やはり、大勢のお供の人々と共に、法華経を聴聞すれば善い人に成れると知つて集まりました。

二九、四迦樓羅王あり、大威德迦樓羅王・大身迦樓羅王・大満迦樓羅王・如意迦樓羅王なり。各若干百千の眷属と俱なり。

迦樓羅は金翅鳥と訳します。鳥類であります。空を飛ぶ鳥の中で一番勝れていると言われています〔参考〕卷一・無量義経第一章徳行品一・二頁〕。

二〇、韋提希の子阿闍世王、若干百千の眷属と俱なりき。

お釈迦さまの信者の一人に頻婆娑羅王びんぱしゃらおうという王さまがいて、その夫人を韋提希いだいと言つて、その子を阿闍世じやせと言います。この子は心がひねくれていて、初め提婆達多だいぱだつたに帰依してお釈迦さまのみ教えが世に弘まるなどを妨害し、さらに両親を牢獄に閉じ込めて王の位を奪つたという、恐ろしい男であります。しかし結局は、お釈迦さまのみ教えに帰依して弟子となり、大勢の家臣と共に来てみ教えを聞いたと伝えられております（提婆達多だいぱだつた卷二・第十二章提婆達多品・一八七頁）。

三、各おの仏足ぶつそくを礼らいし退じのぞいて一面めんに坐ざしぬ。

皆、仏さまのみ足に額をつけて礼拝し、み教えを拝聴しようと、一方に退いて坐わつておりました。

〔妙法蓮華經略義 上卷・七頁〕

福祉の ひろば



幸せのお手伝い

～アレルギー児の対応～
保護者の安心につながる支援～

忘れられない、

利用者・家族との出会い

私は現在、児童養護施設の栄養士として勤務しております、子ども達の食に関わる仕事をしています。現施設で栄養士になり1年が経とうとしています。が、それ以前は駒方保育園で調理員として勤務していました。駒方保育園では、離乳食、アレルギー食に対応しており、特に食物アレルギーに関しては何度も研修を受け、勉強をしてきました。近年、アレルギー児は増加しており、血液検査だけでは解明されない症状など複雑化しており、給食するようになった時、特例として、別の魚を出す

を提供する上で、保護者との面談も必須となっています。

ある男の子はアレルギーが多く、牛乳も魚も食べることでできませんでした。保護者であるお母さまは献立をしつかりチェックし、魚の日は肉料理に変更したお弁当を持参し、副菜も園の給食と同じものが毎回きちんと入っていました。皆と同じものは食べられないけれど、見た目は同じもの食べさせてあげたい、との思いからでした。忙しい毎日の中でお弁当を作るのは大変です。アレルギーが少し改善し、ある種の魚だけは食べられるようになった時、特例として、別の魚を出す

口も男の子用にその魚を一切れだけ仕入れできるようになった。個別に作ることにしました。そうすれば、もうお弁当の必要はなくなります。お母さまは「畠と同じものを食べられる」、と大変喜んでくださいました。アレルギーの知識も大変豊富な

方で、自分が知らないアレルギー除去商品や代替商品を教えていただき、それらも取り入れるようにしました。男の子は年齢が上がるにつれ、少しずつ食べられるものが増え、卒園間近、ついにアレルギーはなくなりました。卒園式の日、「長い間アレルギーの対応をしてもらって安心して通園できました」という感謝とお礼のお手紙をくださいました。とてもうれしかったです。

アレルギーの対応はとても大変です。現場では常に声をかけ合しながら進めていくため、チームワークが重要です。定期的な面談と職員間のニー

ティングにより情報を共有し、話し合ひ、進めていけることが保護者の安心と満足につながることを学ぶことができました。これからも利用者さん、職員の声に耳を傾け、学び続けていきたいと思います。

駒方寮 栄養士 渡邊 幸代



第18回 福祉実践発表会を法音寺本堂で開催



写真提供・昭徳会

昭徳会では毎年、各施設が日頃の取り組みの成果を発表する「福祉実践発表会」を開催しています。今年度は保育・児童分野の施設である駒方保育園・名古屋若松寮が、昭徳会の基本理念である「幸福（しあわせ）」の実現に向けて取り組んできた内容を発表しました。法音寺本堂で行われた発表の様子はYOUTUBEでライブ配信され、昭徳会の職員をはじめ、学生、法音寺関係者、日本福祉大学の教職員など、総勢150名を超える方々にご参加いただきました。

駒方保育園のテーマは「子どもの『なんでだろう』を大切に」。ネットですぐに答えが得られる時代に減少している、五感で感じる『体験』の機会を創出し、子どもの疑問や興味を実際に見て・感じて・体験する経験を通じて、自ら考え、行動し、表現する力を育む取り組みを発表しました。

光徳保育園は日々の生活や遊びから子ども達が世界に興味を持ち、他国の食べ物や戦争など多様なテーマを「学ぶ」経験が、小学校以降の学習意欲の継続につながった事例を紹介。その中で、子どもの人格形成の基礎を培う重要な時期を担う保育職の魅力を発表しました。

天王保育園は園の経営に着目し、「職員が楽しくなければ子どもも楽しくない」という理念のもと、職員全員で働きやすい環境を整え、「人の力を生かす経営（人的資本経営）」を実現するための取り組みを発表しました。

駒方寮は児童養護施設が地域にどう貢献できるかを探り、暗いイメージを払拭し、地域に開かれた存在として気軽に子育て相談ができる居場所づくりをめざした活動を発表しました。

名古屋養育院は未就園で入所する子どもが幼稚園での集団生活に適応できるよう「院内保育」を導入。定着に向けて記録方法や保育内容を改善し、職員の意識向上につなげた取り組みを発表しました。

名古屋若松寮は「ちょっとお耳挿借！（ちょい耳）」という子ども参加型の対話の場を設け、職員との対話を通じて生ま

れる子どもの素直な感情や疑問から、社会生活に必要なルールや決まりを学び合い、育ち合う環境をつくった取り組みを発表しました。

どの施設の発表も大変すばらしく、利用者や地域のために尽力する職員の姿に感動するとともに、私自身も「もっと頑張らなくては」と身の引き締まる思いになりました。

全施設の発表終了後には会場参加者による投票が行われ、最も印象に残った施設が選ばされました。最優秀賞に輝いたのは天王保育園。理事長より賞状と賞金が贈られました。施設運営や業務改善に焦点を当てた発表は、他分野の職員にとっても大変興味深い内容だったのではないでしょか。来年度は「高齢分野」の発表が予定されています。どのような取り組みが紹介されるのか、今からとても楽しみです。なお、福祉実践発表会の様子はYOUTUBEでご覧いただけます。ぜひこの機会に、昭徳会の施設の取り組みをご覧ください。



福祉セミナー等実行委員会

委員長（法人本部事務局 事務員）

金子 真帆

東京2025デフリンピックで本学卒業生が世界に輝く活躍を見せました！

（日本福祉大学 スポーツ・文化振興課）

2025年11月15日より開催された「東京2025デフリンピック」において、本学の卒業生達が世界の舞台ですばらしい成果を収めました。

男子4×100mリレーでは、坂田翔悟選手（2021年度社会福祉学部卒業）がチームの一員として見事金メダルを獲得。また、個人種目の100mでも堂々の8位入賞を果たしました。さらに、須山勇希選手（2023年度教育・心理学部卒業）は走幅跳で6位入賞、中西椋選手（2022年スポーツ科学部卒業）は三段跳で4位入賞、中村美月選手

（2023年度スポーツ科学部卒業）は女子4×400mリレーで6位入賞と、それぞれ世界の強豪を相手に健闘しました。

デフリンピックは、聴覚に障害のあるアスリート達が世界中から集い、競い合う国際的なスポーツ大会で





す。1924年に始まり、パラリンピックよりも長い歴史を持つこの大会が、2025年に東京で開催されたことは、日本にとつても大きな意義を持つ出来事でした。静寂の中で交わされる熱い戦いは、観る者の心を強く揺さぶり、スポーツの持つ力を改めて感じさせてくれます。

こうした国際大会での卒業生の活躍は、本

学にとつて大きな誇りであると同時に、在学生や地域の方々にとつても大きな励みとなります。障害の有無にかかわらず、自らの可能性を信じて挑戦し続ける姿は、まさに本学の建学の精神「如我等無異」にも通ずるものがあると思います。彼らの努力と情熱は、スポーツが持つ普遍的な価値を体現しており、私達一人ひとりに「違い」を超えてともに生きることの大切さを教えてくれます。

本学では今後も、すべての人がスポーツを通じて生きがいを見出し、夢に向かって羽ばたけるよう、環境整備や支援体制の充実に努めてまいります。卒業生の活躍を胸に、これからも多様な個性が輝ける学びの場を育んでいきたいと思います。

スポーツ・文化振興課
藪井 祐明佳

幸せの種まき

今を一生懸命に生きたら

「今日も一日ありがたかつた」と
喜びの内に一日が終わります

いいかげんな生き方をしていたら

「あれが心配、これが心配」と

次から次に心配事が出てきます

大乗山 法音寺

編集後記

新しい年を迎え、お寺で手を合わせると「今年こそは……」と心を引き締めるものですが、その意志は一年を通して継続せず、結局は日々の出来事に心を奪われてしまいます。私達は、限られた人生の時間をいかに生きるかが常に問われているのだと思います。その意味で、法音寺先師のみ教えは私達を導く道標であると改めて感じます。

杉山先生は因果の二法から「種をまかずには花実を求める事はできない」と、日々徳を積むことを奨励されました。村上先生は「無為に暮らせば苦しみは免れない」として、堪忍の大切さを説かれました。さらに、御開山上人は徳積みを継続するための指針として「今日一日」というキーワードを授けてくださいました。日達上人は「生きている間しか徳は積めない」と示唆を与えてくださり、「山首上人さまもまた「老若を問わず、待ったなしに死は訪れる」と述べられ、今を大切に生きることを説かれています。

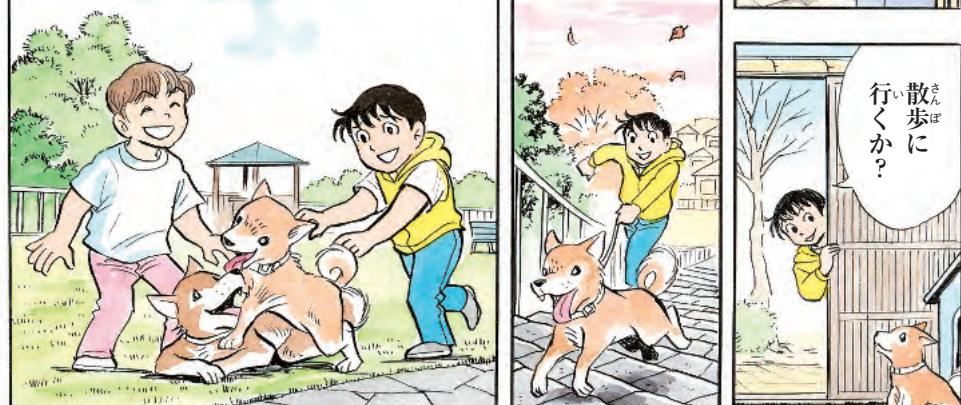
お寺では「三毒（貪り・怒り・愚痴）の社会にいても清らかに咲く蓮の華のような生き方をしましょう」と教えられます。せっかく法音寺に会つた私達ですから、そのご縁を無駄にすることのないようにしたいのです。

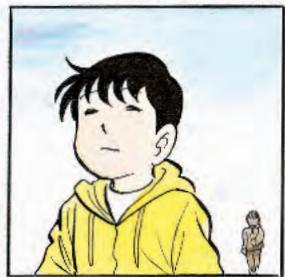
もう一度会いたい

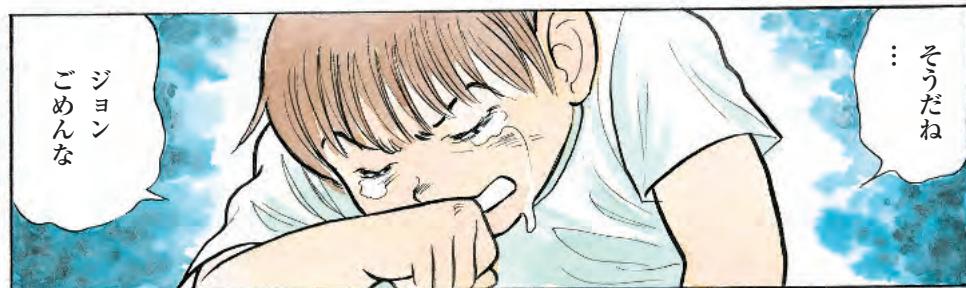
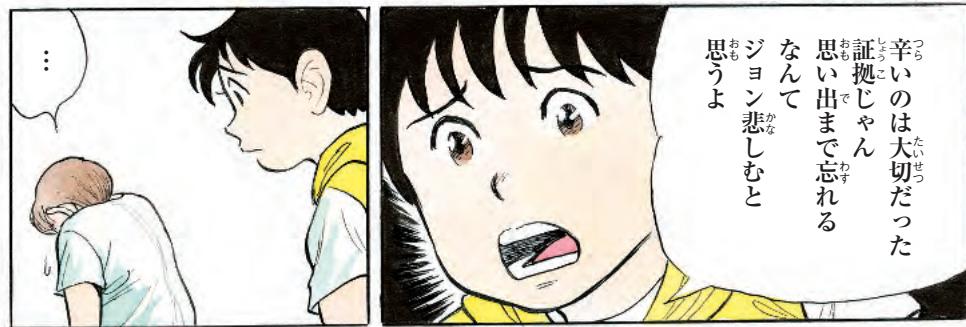
竹中 淳

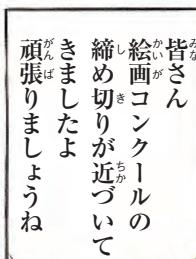






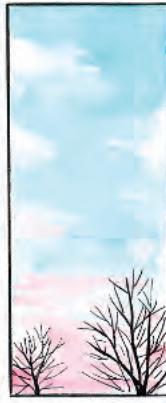






ボクにとつて大切な
ムーがいなくなつたら
ボクはどうなんだろ

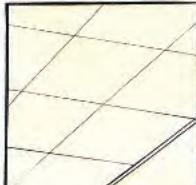
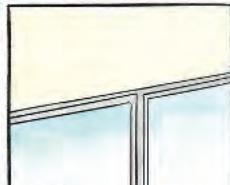




ハア～
また

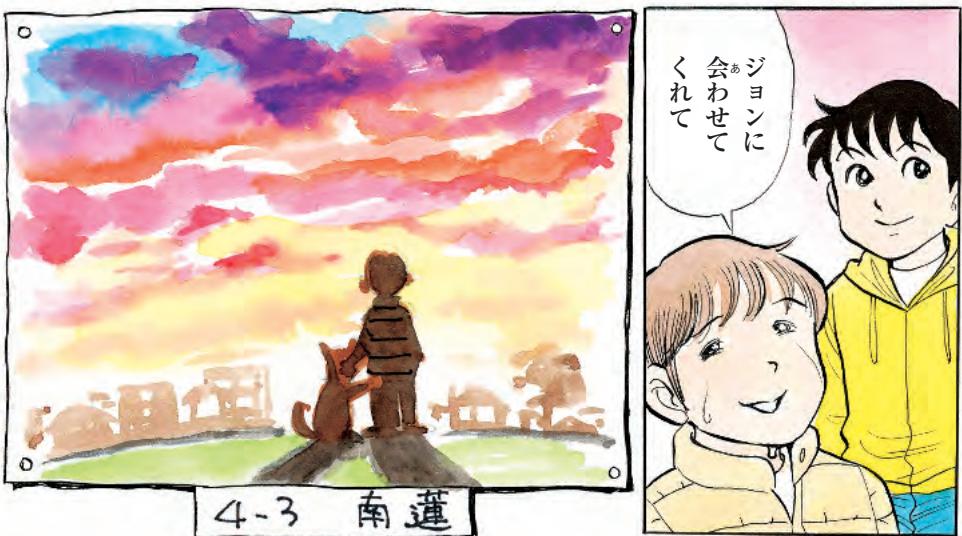
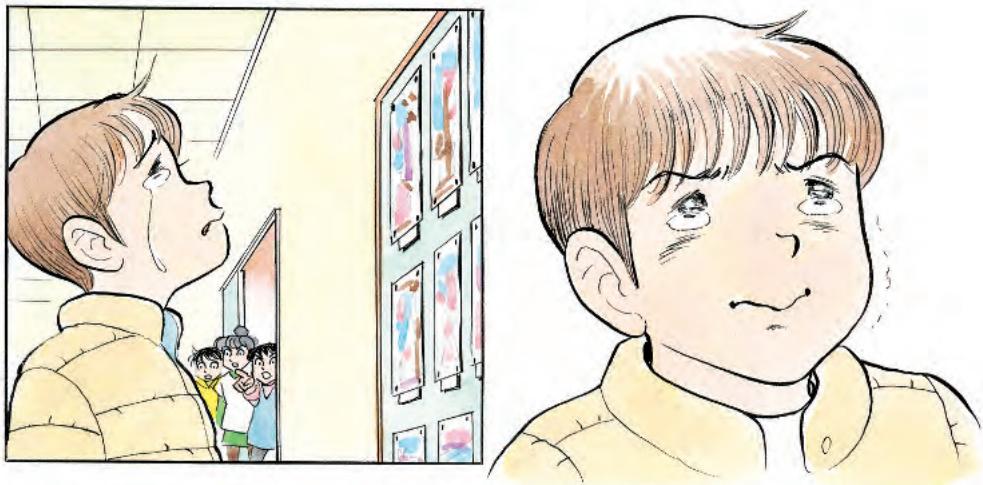


でも
みんな
の力作は
廊下に
掲示したので
じっくり鑑賞
してくださいね



南くん
いつたい
城島くんに
何したのよ
ええつ!?





4-3 南蓮

おしまい

令和8年・法音寺年間行事予定表

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
1	1	木	新年祝祷会	7	7	火	講日
	2	金	〃		17	金	講日
	3	土	〃		19	日	ほうろく加持・虫封じ祈祷
	7	水	初講日・交通安全祈願会		26	日	墓経
	17	土	講日		27	月	講日
	27	火	講日(宗玄大徳御祥月命日法要)				
2	1	日	星祭・節分会	8	2	日	盂蘭盆会
	7	土	講日		7	金	講日
	17	火	講日		17	月	講日
	22	日	第326回 報恩講習会		27	木	講日
	27	金	講日		30	日	育成行事
3	1	日	育成合同会議	9	7	月	講日(日宣上人御祥月命日法要)
	7	土	講日		13	日	第329回 報恩講習会
	17	火	講日		17	木	講日(慈泉院殿温和妙真大徳御祥月命日法要)
	20	金	春季彼岸会		23	水	秋季彼岸会
	27	金	講日		27	日	講日／合祀供養
	29	日	青少年育成道場				
4	7	火	講日・釈尊降誕会	10	4	日	全山一斎清掃奉仕の日
	12	日	第327回 報恩講習会		7	水	講日
	17	金	講日		11	日	大黒・鬼子母尊神祭
	27	月	講日		17	土	七五三祈祷会
	29	水	胎教児証書授与式		25	日	講日・御会式
					27	火	第24回 信教師セミナー
5	3	日	浄心道場(～5日)	11	1	日	育成合同会議
	7	木	講日(法泉院殿慈温妙光大徳御祥月命日法要)		3	火	第43回 御法推進全国大会
	17	日	講日		7	土	講日
	24	日	御開山会		17	火	講日
	27	水	講日		22	日	第330回 報恩講習会
	31	日	御開山会		27	金	講日
					29	日	本尊授与式・授戒会
6	7	日	講日(御開山上人御祥月命日法要)	12	7	月	講日
	14	日	御開山会		17	木	講日(日達上人御祥月命日法要)
	17	水	講日		27	日	講日
	21	日	第328回 報恩講習会		31	木	晦日参り
	27	土	講日(安立大法尼御祥月命日法要)				

(注) 上記事項の変更、追加、及び団参等については事前にご通知いたします。

悅可衆心



法音寺

カトレア